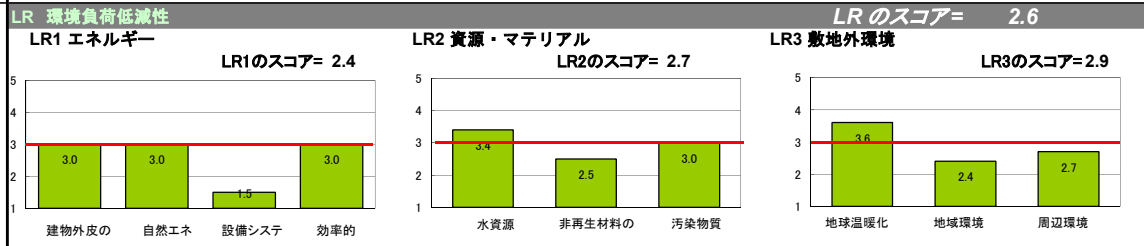
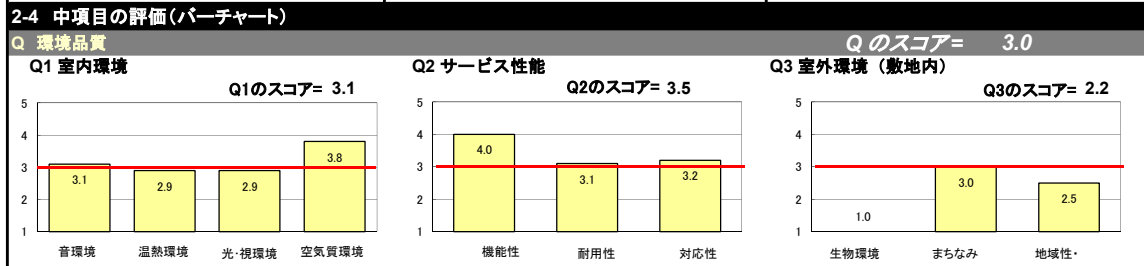
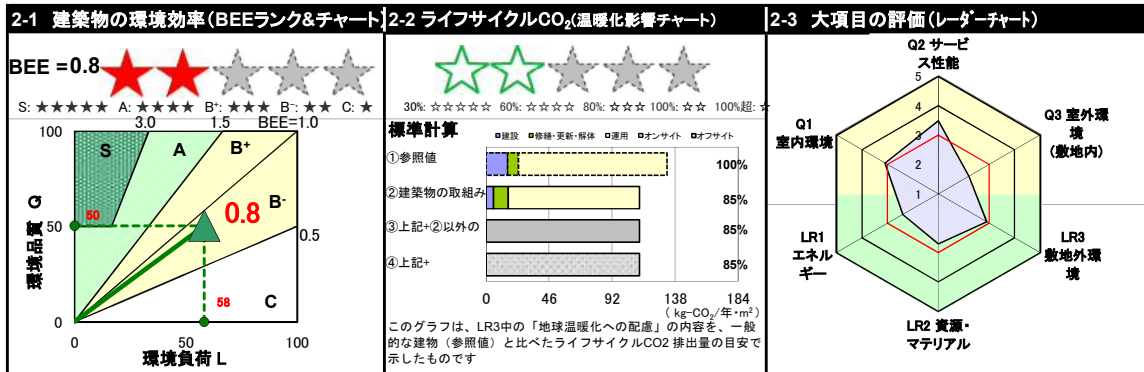


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)尾張旭市印場元町プロジェクト	階数	地上7F
建設地	愛知県尾張旭市印場元町一丁目2番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	132 人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年1月9日
敷地面積	1,383 m <sup>2</sup>	作成者	佐橋
建築面積	567 m <sup>2</sup>	確認日	2017年1月10日
延床面積	3,183 m <sup>2</sup>	確認者	佐橋



3 重点項目					
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p>3.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p>1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>18.1 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	18.1 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	18.1 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p>2.7</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</td> <td>なし</td> </tr> </table>	<外装材に使用した地域性のある材料>	なし	<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	なし
<外装材に使用した地域性のある材料>	なし				
<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	なし				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮  
②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減  
③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出  
④地域材の活用  
Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4)地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} + \text{附属物面積}}$  × 100

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$  × 100

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>								
<b>Q1 室内環境</b>								
<b>1 音環境</b>								
1.1 騒音			3.0	0.15	3.1	1.00	3.1	
1.2 遮音			3.0	0.50	3.0	0.50		
1 開口部遮音性能			3.0	0.50	3.3	0.50		
2 界壁遮音性能		RC界壁 最低厚180mm確保	3.0	1.00	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	4.0	0.30		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音			3.0	-	3.0	0.20		
<b>2 温熱環境</b>								
2.1 室温制御			2.6	0.35	3.0	1.00	2.9	
1 室温			2.2	0.50	3.0	0.50		
2 外皮性能			3.0	0.63	3.0	0.63		
3 ゾーン別制御性			1.0	0.38	3.0	0.38		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30		
<b>3 光・視環境</b>								
3.1 昼光利用			2.4	0.25	3.0	1.00	2.9	
1 昼光率			3.0	0.30	3.0	0.30		
2 方位別開口			3.0	0.60	3.0	0.50		
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策			1.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御			1.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25		
<b>4 空気質環境</b>								
4.1 発生源対策			3.0	0.25	4.0	1.00	3.8	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用	3.0	0.60	5.0	0.63		
4.2 換気			3.0	1.00	5.0	1.00		
1 換気量			3.0	0.40	2.3	0.38		
2 自然換気性能			3.0	0.50	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理			3.0	-	3.0	0.33		
1 CO <sub>2</sub> の監視			3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御			3.0	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>								
<b>1 機能性</b>								
1.1 機能性・使いやすさ			2.2	0.40	4.4	1.00	4.0	
1 広さ・収納性			1.0	0.40	5.0	0.60		
2 高度情報通信設備対応		Gbitクラスのプロトコル利用可能	3.0	-	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画	独自		1.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性			3.0	0.30	3.5	0.40		
1 広さ感・景観		天井高2.5m確保	3.0	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース			3.0	1.00	3.0	0.50		
3 内装計画			3.0	0.30	-	-		
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>								
2.1 耐震・免震			3.1	0.31	-	-	3.1	
1 耐震性			3.0	0.48	-	-		
2 免震・制振性能			3.0	0.80	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	0.20	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		住宅性能評価劣化対策等級3取得予定	3.4	0.33	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②		5.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.23	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.09	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.08	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.15	-	-		
2.4 信頼性			3.0	0.23	-	-		
1 空調・換気設備		個別空調方式	2.8	0.19	-	-		
2 給排水・衛生設備	②		3.0	0.20	-	-		
3 電気設備			2.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-		
<b>3 対応性・更新性</b>								
3.1 空間のゆとり			3.0	0.29	3.3	1.00	3.2	
1 階高のゆとり		最低階高2910mm	3.0	-	3.6	0.50		
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	4.0	0.60		
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.40		
3.3 設備の更新性			3.0	-	3.0	0.50		
1 空調配管の更新性	②		3.0	1.00	-	-		
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性			3.0	0.17	-	-		
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性			3.0	0.11	-	-		
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.22	-	-		

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	独自③			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			3.0	0.40	-	-	3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④			2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	2.6
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	2.4
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>				3.0	0.40	-	-	3.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>				3.0	0.20	-	-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>				1.5	0.40	-	-	1.5
集合住宅以外の評価(3a.3b)				3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)				1.5	1.00	-	-	-
<b>4 効率的運用</b>				3.0	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	-	-	-	-
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	2.7
<b>1 水資源保護</b>				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-
節水コマ及び節水型便器を採用				3.0	0.60	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	1.00	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-	-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				2.5	0.63	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.24	-	-	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	2.9
<b>1 地球温暖化への配慮</b>				3.6	0.33	-	-	3.6
① ライフサイクルCO2概算値:85%				2.4	0.33	-	-	2.4
<b>2 地域環境への配慮</b>				3.0	0.25	-	-	-
2.1 大気汚染防止				2.0	0.50	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.7	0.25	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.7	0.33	-	-	2.7
<b>3 周辺環境への配慮</b>				3.0	0.40	-	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.33	-	-	-
1 騒音				3.0	0.33	-	-	-
2 振動				3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3 日照障害の抑制				1.6	0.20	-	-	-
3.3 光害の抑制				1.0	0.70	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明の立ち外に漏れる光への対策				3.0	0.30	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	-	-	-	-

# 重点項目スコアシート

(仮称)尾張旭市印場元町プロジェクト

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.6</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.7</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:18.1%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

## ■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)尾張旭市印場元町7

計画上の配慮事項	
総合	省エネ、維持管理や防犯等に配慮し良質な住空間の形成を目指した
Q1 室内環境	快適な住空間となるよう配慮
Q2 サービス性能	高効率設備機器の採用
Q3 室外環境(敷地内)	周辺環境に配慮し、エントランス廻りを優先的に緑化
LR1 エネルギー	省エネを考慮した設備機器を設置し、一次エネルギー消費量を抑えるよう配慮
LR2 資源・マテリアル	住戸便器に省水型機器を採用
LR3 敷地外環境	駐輪場を住戸数比200%確保
その他	